

褥瘡発生予防に関する指針

1. 褥瘡発生予防に関する考え方

高齢者は低栄養状態や活動の低下、疾病に伴う寝たきり状態に陥りやすく、褥瘡が発生するリスクがあります。特に施設を利用しておられる方には、加齢に伴い心身の機能が低下している方が多くおられ、そのリスクをもつ利用者の健康で尊厳のある生活の実現のため、多職種共同のもと質の高いサービスの提供を目指してこの指針に従い、褥瘡発生予防に対する体制を確立し、褥瘡予防のための計画の作成、実践並びに評価を行います。

2. 褥瘡発生予防に向けての基本方針

- (1) 褥瘡発生予防に対する体制の整備
当施設では、褥瘡発生の予防と早期対応のため、褥瘡予防・対策委員会を設置し、具体的な対応については委員会で対応します。
- (2) 多職種共同によるチームケアの推進
各職種の専門性に基づくアプローチからチームケアを行うことを基本とし、それぞれの果たすべき役割に責任を持って対応します。
- (3) 専門家との連携
外部の褥瘡予防の専門家とも積極的に連携し、より質の高いケアに取り組みます。
- (4) 職員に対する教育・研修
褥瘡発生予防に対する知識の習得、施設の方針の徹底、情報の伝達等を目的として、研修会等を定期的の実施し、職員の教育に努めます。

3. 褥瘡発生予防に対する体制の整備

- (1) 褥瘡予防・対策委員会の設置
 - ① 設置の目的
利用者の褥瘡発生予防に努め、発生時における苦痛の緩和と早期治療、及びケア提供を適切に行うことを目的とし、褥瘡予防・対策委員会を設置する。
 - ② 褥瘡予防・対策担当者
介護職員、看護職員
 - ③ 褥瘡予防・対策委員会の構成
 - ア 施設長
 - イ 事務長
 - ウ 医師
 - エ 看護師
 - オ 生活相談員
 - カ 介護支援専門員
 - キ 介護職員
 - ク 管理栄養士(栄養士)
 - ケ 機能訓練指導員
 - ④ 褥瘡予防・対策委員会の開催
委員会は定期的に3ヶ月に1回開催します。その他、必要時には、随時開催します。
 - ⑤ 褥瘡予防・対策委員会の役割
 - ア) 褥瘡予防、及び発生時に向けた対応の検討
 - イ) 施設サービス計画の作成へ出席、参加
各種、看護計画(診療計画書)、介護計画、栄養ケア計画立案
 - ウ) 各種マニュアル、様式等の見直し

エ) 適切な福祉用具の選定

4. 褥瘡発生及び治療の対応

褥瘡発生予防と早期対応のため、以下によって対応します。

①リスクの評価

早期の対応を行うため、以下の方法を用いて、褥瘡発生のリスクを評価し、ハイリスク者を抽出します。

評価方法の例

診療計画書・ブレージングスケール・OHスケール・Kスケール
褥瘡・創傷の管理のホームページ参照

②褥瘡発生予防及び治療の実施

別紙「褥瘡予防治療の進め方(フローチャート)にしたがって行います。

5. 褥瘡発生予防に関する各職種の役割

各職種の専門性に基づくアプローチから、チームケアを行う事を基本とし、それぞれの果たすべき役割に責任をもって対応します。

(施設長)

1) 褥瘡発生予防の総括管理

(医師)

1) 定期的な診察・処置方法の指示
2) 各協力病院との連携を図る。

(看護職員)

1) 医師又は協力病院の連携を図る。
2) 褥瘡処置への対応
3) 褥瘡ケア計画の作成と経過記録の整備
4) 個々に応じた体位変換、安楽な座位確保の工夫
5) 褥瘡発生予防の計画立案
6) 職員への指導

(栄養士)

1) 褥瘡の状態把握と栄養管理
2) 栄養ケアマネジメントにおける状態の把握と利用者の管理
3) 食事摂取量低下に伴う栄養保持の工夫

(生活相談員・介護支援専門員)

1) 褥瘡ケア計画に基づくチームケア
2) 外部の専門機関との連絡調整
3) 家族への対応
4) 褥瘡発生予防の取組みと体制作り

(介護職員)

1) きめ細やかなケアと衛生管理に努める。
2) ケア計画に基づく排泄、入浴、清潔保持
3) 個々に応じた体位変換と安楽な座位の工夫
4) 苦痛を排除する精神的緩和ケアとコミュニケーション

- 5) 褥瘡発生予防の取組み
- 6) 褥瘡ケア計画の作成と経過記録の整備

6. 専門家との連携

より質の高いケアを目指すため、内部のスタッフだけでなく、外部の医療・介護・介護機器等の専門家と積極的に連携し、スキルアップを図ります。

7. 職員に対する教育・研修

より質の高いケアを提供するにあたり基礎知識と技術を身につけることを目的として、委員会を中心とした施設内研修会、勉強会を開催するとともに外部研修会への積極的参加を図ります。

- ① 定期的な教育・研修(年2回以上)の実施
- ② 新任者に対する褥瘡発生予防の教育・研修の実施
- ③ その他、必要な教育・研修の実施

8. 適用年月日

この指針は、平成20年11月1日から施行する。

改正 令和 3年 9月 1日
改正 令和 5年 1月 1日

褥瘡予防・治療の進め方 フローチャート

褥瘡発生のリスクの評価

褥瘡のある方

リスクが低い方

ハイリスクの方

治療計画の策定

定期的再評価

ケア計画の策定

治療

ケア計画の実行

